

小松市立学校PTA 連 合 会

PTA だより

第104号

よりよい未来へ！協力しあい、助けあう ～ 次世代を担う子どもたちのために ～

<市P連事務局>

〒923-0927 小松市西町25番地

小松市立芦城小学校内

TEL (0761) 23-2478

FAX (0761) 23-0902

Eメール pta@komatsu-pta.jp

ホームページ https://komatsu-pta.jp/

Facebook https://m.facebook.com/100091311857133

令和7年7月1日発行

市P連広報委員会



小松市立学校PTA連合会

会長

坂本 啓太

保護者の皆さま、いつも子どもたちの成長をあたたく見守ってくださり心より感謝申し上げます。
令和7年度、小松市立学校PTA連合会の会長を務めさせていただきます坂本啓太です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まずは、各小中学校のPTA会長並びに関係者の皆さま、そして日々子どもたちのそばでご指導、ご教育いただいています小松市様そして教育委員会様並びに教職員の皆様に深く感謝申し上げます。

令和6年1月に発生した能登半島地震から、1年余りが経ちました。多くの方々が被災され、今なお復興の途中にあります。改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。あの経験を通じて、改めて「地域で支え合う」ことの大切さを感じました。PTAもまた、その支え合いのひとつのかたちであると再認識しました。

さて、今年度の活動テーマは「温故知新」です。これは、古きよきものを大切にしながら、今という時代に合わせて新たな価値を見出していこうという意味です。小松市には地域ごとに先輩たちから受け継がれてきた歴史、文化、そして伝統があります。それらを私たち大人が学び、子どもたちにしっかりと伝えていくことは、ふるさとへの愛着を育てる大切な取り組みの一つだと感じています。子どもたちが小松をもっと好きになり、将来また地元に戻ってきたい——そんな思いを持ってくれることを願っています。

一方で、少子化や生活環境の変化により、PTA活動そのものがご家庭にとって負担になってきているのも現実です。だからこそ、これからのPTAは「無理なく続けられるかたち」が必要という一面がある。すべてを残すのではなく、「何を大切に守っていくのか」を地域で共有し、活動を少しずつ見直していくことも大切だと考えています。特に、地域に根付いた歴史や文化、風習、伝統行事などは、子どもたちの心に残る大切な学びとして優先的に守り、そして伝えていくことが私たちの役割だと考えています。

今年度の重点は三つです。

一つ目は、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちの育ちを支えていくこと。

二つ目は、地域の良さを再認識し、子どもたちに伝える活動を続けていくこと。

そして三つ目は、8月に小松市で開催される日本PTA全国大会において、小松の魅力（歴史、文化、伝統など）を全国の皆さまにしっかりと伝えることです。全国から訪れる皆様に小松市に「来てよかった」「また来たい」と感じていただけるよう、小松市の魅力を、小松らしい“おもてなし”で心から歓迎できればと思っています。

これからの一年、子どもたちの未来のために、できることを皆さんと一緒に、少しずつでも進めていきたいと願っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

★令和7年度 市P連組織

顧 問		会 長		監 事		会 計		◎委員長 ○副委員長 ●校長	
清水 篤志・田村 義彦(安宅小)		坂本 啓太(芦城中)		宮川 教高(板津中)・平島 慎也(第一小)		北出 葵(中海小)			
副会長		副会長		副会長		副会長		副会長	
江畑いずみ(東陵小) 県P家庭教育委員・代議員		杉山 広明 (板津中)		水谷 一博 (矢田野小)		石島 英彰 (安宅小)		金田奈津代 (安宅中)	
総務委員会		広報委員会		豊かな心を育む委員会		未来の宝育成委員会		輝く心の学び委員会	
◎辻 森川 林 下之上 田 克憲 誠 英男 大地 (芦城中) (安宅小) (向小)		◎岡本 松田 藤宮 奥 田田 野本 章宏 啓祐 達矢 英貴 (東陵小) (苗代小) (木場小)		◎生水 荒高 福河 木橋 島原 豊重 喜輝 樹晶 憲彦 (連代寺小) (第一小)		◎角富 江 谷山 畑 剛志 清志 (南中) (芦城中)		◎酒田 葵 順子 裕美 (今江小) (南中)	
●高田 幸代 (符津小学校校長)		●吉田 桂子 (串小学校校長)		●林 幸子 (連代寺小学校校長)		●宮森 陸夫 (松東みどり学園校長)		●吉田 亜紀 (木場小学校校長)	
佐伯 山元 正能のぶ 幸代 一馬 歩 (能美小) (串小) (府小)		石道 川下 富田 吉田 緒直 浩司 裕美 憲樹 樹 (中海小) (江小)		前野 東海 林 野浩 康 幸子 智広 之 行 (矢田野小) (粟津小)		山菅 中宮 田原 川 森 竜大 和 陸 也樹 則 夫 (中海中) (安宅中) (板津中)		杉水 加 金 石 山谷 藤 田 郷 広一 旗 奈 岡 明博 代 津 信 (板津中) (安宅中) (芦城中)	

・第68回小松市PTA研究大会

令和7年度研究発表校

松東みどり学園育友会

矢田野小育誠会

中海小育友会



・わたしたちにもできるSDGs運動 小松市民大会

同時開催

日付：令和7年11月9日(日)

場所：小松市民センター



令和7年度 東陵小学校育友会 教育講演会

笑いヨガ 笑顔いっぱい未来へ

東陵小学校育友会 会長 松田 由宜子

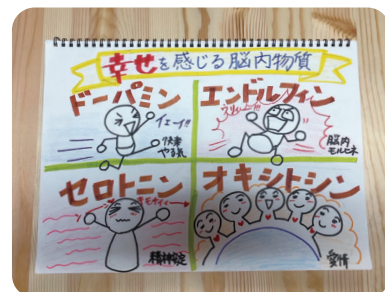
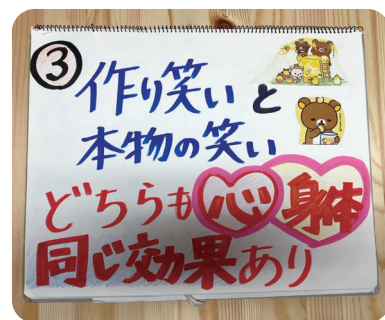
6月2日、東陵小学校の育友会教養講演会では、全児童と保護者（全保護者の61%）を対象に笑いヨガティチャーの西 直子先生による「笑いヨガ」を行いました。

西先生は、高校の英語教諭としてご活躍されながら、なんとインドへ行き「笑いヨガ」を考案された内科医マダン・カタリア先生から直接学んで来られました。手作りのスライドと手書きのスケッチブックを用い、1年生から保護者まで全員が理解できる「笑いヨガ」の根拠や効果を西先生からご説明頂いた後、全員で「笑いヨガ」を行いました。6年生の国語の教材にある「笑うから楽しい」を子どもも大人もみんなで体感できた時間でした。「私たちの体と心は、それぞれ別々のものではなく、深く関わり合っています。体の動きも心の動きに働きかけるんです。」「脳は『作り笑い』であっても『本物の笑い』であっても『笑い』と認識をし『幸せを感じる脳内物質』を出してくれるのです。」児童も保護者もみんな笑顔で素敵な学びを体感できたと思います。

「久しぶりに意味もなく笑いました。」「楽しくなり身体も楽になりました。」「プラス思考のヒントが沢山詰まっていた。」「身体を使って自然と笑顔になれる。」などの嬉しい感想が参加された保護者の皆さんの事後アンケートに溢れていました。

子どもたちにも様々な悩みがあり、真剣に育児をしているからこそ保護者にも悩みは尽きません。だからこそ、日々の生活の中で「笑うから楽しい」を実践してもらえたらと思います。

今年の東陵小学校は笑顔が溢れること間違いなしです！



編集後記

今年度最初のPTAだより104号をお届けしました。広報の役割は皆さんに小松市立学校PTA連合会の活動を知っていただくことです。東陵小学校の「笑いヨガ」の記事はいかがでしたでしょうか？読むだけで笑顔になりますね。「笑うから楽しい」素敵な言葉です。今後も活動への理解を深めながら、人と人との繋がりを広げていこうと思っています。取材に御協力頂いた皆さんに心より感謝申し上げます。

広報委員長 岡本 章宏（能美小）

広報委員会

岡本 章宏（能美小）・松田由宜子（東陵小）
辻 啓祐（苗代小）・藤野 慎也（荒屋小）
宮本 達矢（木場小）・奥 英貴（月津小）
石道 緒憲（今江小）・川下 直樹（中海小）
富田 浩司（松東みどり）・杉山 広明（板津中）
吉田 桂子（串小学校校長）